



3月の産山村星空観察会

天空が広がるうぶやまの高原は、陽が長くなり、暖かい風が吹き始め、春の訪れを感じさせます。宵の空には冬の星座が見え、それを追いかけるように春の星座が東から昇ってきます。

イベント情報

- 日付 令和8年3月3日(火)／13日(金)
- 時間 日没後(18時00分頃)～22時00分
- 場所 うぶやま天文台(ファームビレッジ産山内)
- 持参物 星座早見盤(持っていない人は配布します)
★防寒着(天文台内部は機材管理の暖房はしません)
★産山村民の入館料は無料です。
- お問合せ 産山村教育委員会(0967-25-2214)

特集コラム(天体観察・見どころ)

3月の産山村星空観察会は3月3日(火)、13日(金)の2回開催され、それぞれのテーマで実施します。

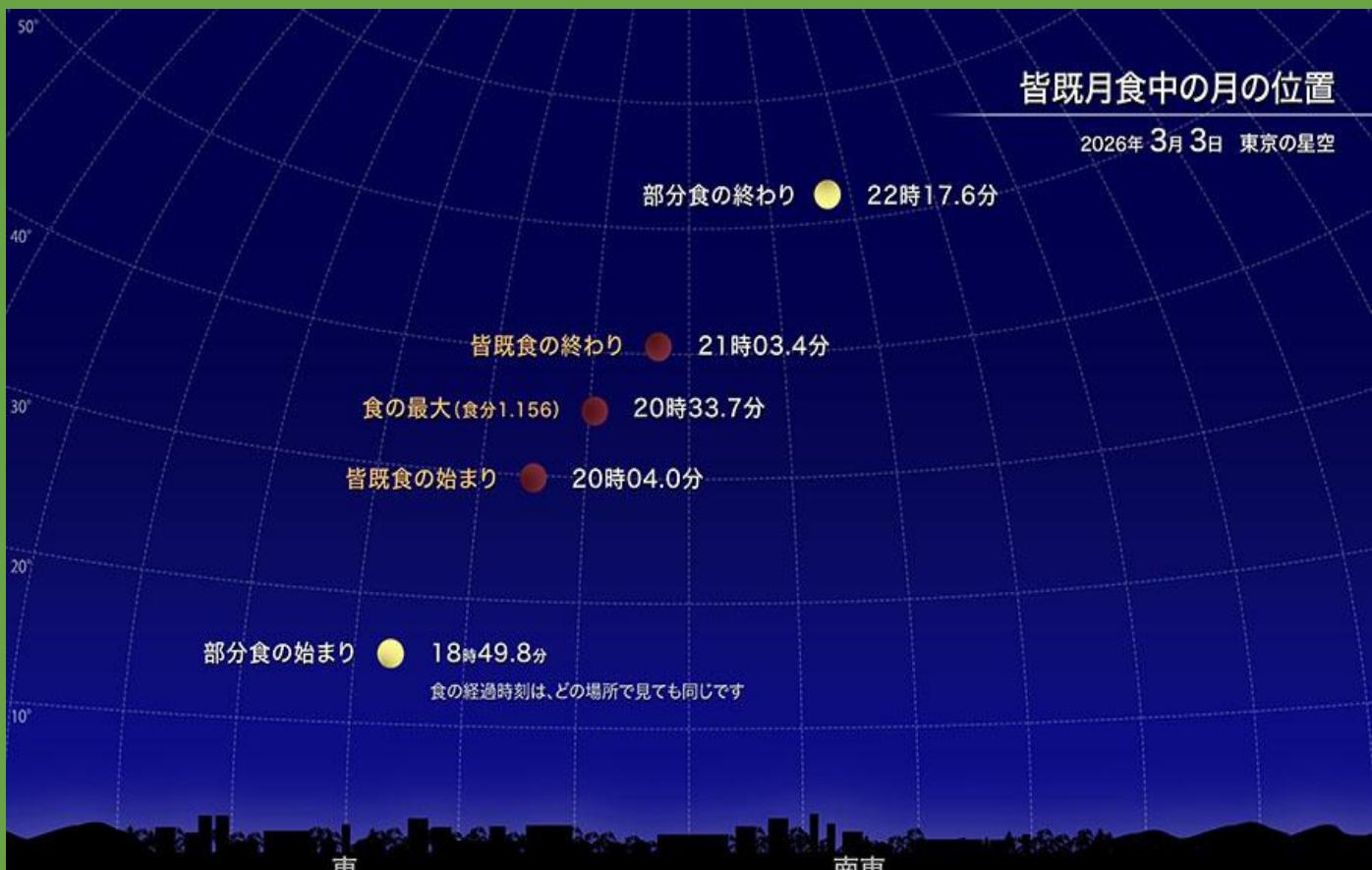
第1弾 皆既月食観察会

3月3日(火)は、全国で見られる皆既月食で、大変珍しい天文現象なので「皆既月食観察会」として実施します。

月は、東の空で18時50分に欠け始め、20時04分に皆既食となります。皆既食となった月は、「赤銅色(しゃくどういろ)」と呼ばれる、赤黒い色に見えます。皆既食は21時08分に終わり、その後は徐々に欠けた部分が小さくなっていき、22時18分に、南東の空で部分食が終わります。全行程、あまり夜更かししないですむ時間帯で起こるため、観察しやすい月食です。

全国で見られる皆既月食は2025年9月8日以来です。次に日本全国で皆既月食が見られるのは2029年1月1日で、年が明けてすぐに(0時7分)月が欠け始めるという、珍しいタイミングで起こります。ひな祭りの夜、ご家族で観察してみてはいかがでしょうか。(次ページに続きます。)

観察対象



3月3日皆既月食の全行程

第2弾 冬から春に移り変わる星座と木星を楽しもう

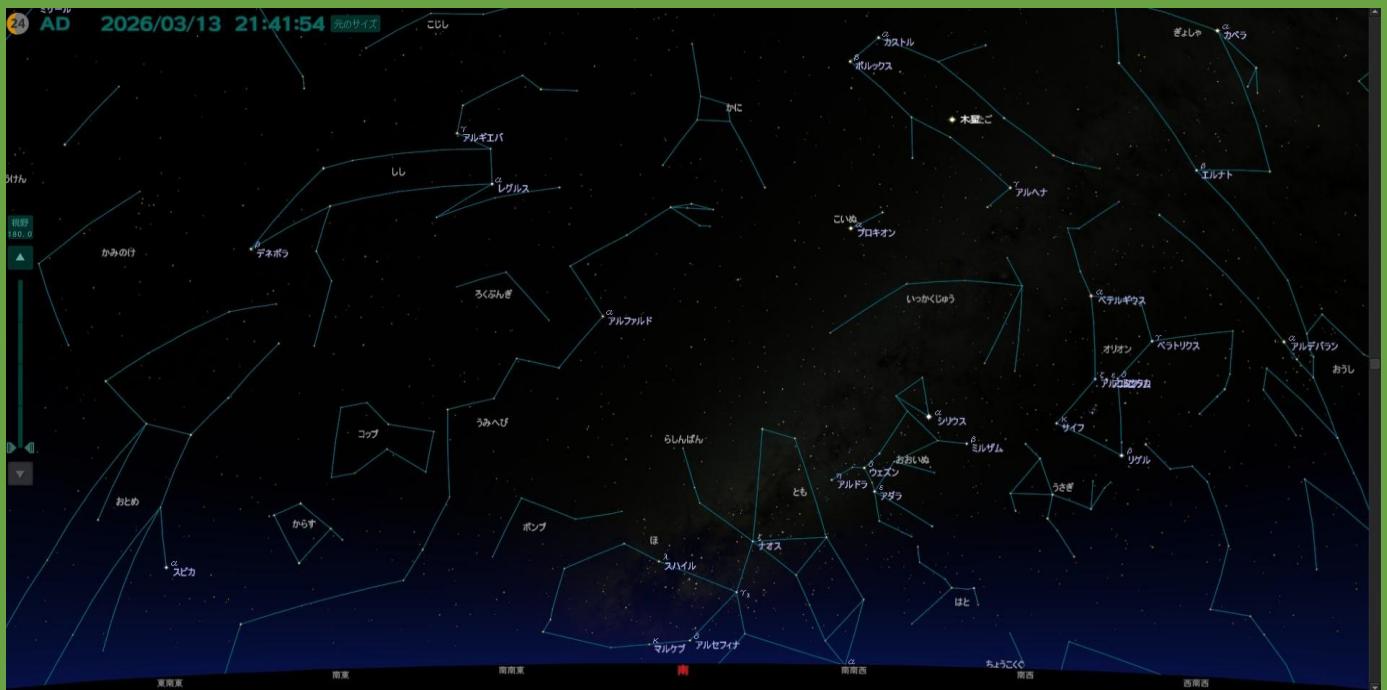
3月13日(金)は、「冬から春に移り変わる星座と木星を楽しもう」というテーマで行います。

宵の南から西の空にはまだオリオン座、おおいぬ座などの冬の星座が輝いています。ふたご座に、-2.5等級の木星がひときわ明るく輝いています。東からはしし座、おとめ座、などの春の星座が昇ってきます。北を見るとおおくま座の北斗七星のひしゃくが直立した姿が見られます。

春は天の川の星が密集している部分の反対方向をみているので、系外銀河や淡い星雲などを多く見ることができます。天文台の大型望遠鏡で明るい木星の縞模様やガリレオ衛星、多くの銀河や星雲を楽しみましょう。

また、3月下旬にはおおくま座の北斗七星と、うしかい座の1等星アルクトゥールス、おとめ座の1等星スピカを結ぶ「春の大曲線」、うしかい座のアルクトゥールス、おとめ座のスピカ、しし座の2等星デネボラを結ぶ「春の大三角」も素晴らしい眺めとなるでしょう。(次ページへ続きます。)

觀察對象



初春の南の夜空



木星



りょうけん座 M51(子持ち銀河)



おおくま座 M81、M82



おとめ座 M104 (ソンブレロ銀河)